

2011年9月15日

報道機関の皆さまへ

いつも地域に根ざした報道をして下さりありがとうございます。

また、今日はお忙しい中、私たちのために取材に来て下さったことを心から感謝いたします。

掛川市をはじめとする浜岡原発地元周辺市町で、「放射能から子どもを守りたい」、「原発のない安心して暮らせるまち作りをしたい」という動きが主婦や母親たちの間で少しずつ広がっています。

9月7日に「放射能について不安・疑問に思っていることを話すお茶会」を行い、掛川市、磐田市、袋井市の8名の主婦と母親たちが参加しました。こうした集まりの中で、本日の掛川市への申し入れ、9月19日の広河隆一氏の写真展の企画が生まれ、実施することになったのです。

今日は、主婦と母親5名（掛川市民4名、袋井市民1名）で掛川市に要望書を届けました。この要望書についての掛川市のご対応について、11月頃に何らかの回答をして下さるようお願いいたしました。掛川市から回答をいただきましたら、皆さまにご報告させていただきます。

今日の申し入れは、市民有志であり、現時点においては、会やグループなどは結成しておりません。

今後は、御前崎市、菊川市、浜松市の主婦や母親たちとも繋がり、「原発のない、放射能に怯えることのない安心して暮らせる社会」をともに作っていきたいと考えています。その一環として現在、「遠州巡回脱原発ポスター展」や子どもが参加できる楽しいイベントを企画しています。

主婦・母親たちによる「原発のない、放射能に怯えることのない安心して暮らせる社会作り」への取り組み、そして「9月19日広河隆一写真展～チェルノブイリ、福島、そして原発のない未来へ」を、より多くの人たちにお伝え下さるようお願いいたします。

今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

浜岡原発を考える掛川市民（母親・主婦）有志